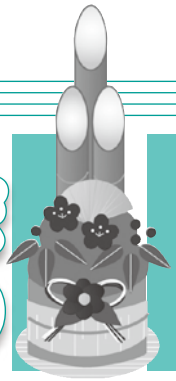




まちづくり協議会 新年のごあいさつ



南部まちづくり協議会

新年明けましておめでとうございます。

本年も「どこでも参上! 盛り上げ隊」を筆頭に南部まち協は地域のために張り切って活動を続けてまいります。

現在ボランティア活動をしている団体は全国にたくさんあると思いますが、「ボランティア」というと、なぜか滅私奉公、自己犠牲的な「奉仕」というイメージです。つまり、ボランティアとはあくまで「代償を求めない」「無償性」を基本スタンスとした尊い活動であると思われていました。

しかし、近い将来、私たちが経験するであろう「高い国民負担」を強いられる懸念のある今こそ、私たち南部まち協が実践している「住民公益活動」としてのボランティア活動が必要だと思えます。たとえそれが「有償」であっても、根本に「やさしさ」、「おもいやり」、「おたがいさま」の精神があればボランティアの性格を逸脱するものではないと考えます。

このようなことを考えながら、今年はまち協でできる「収益事業」について取り組んでいきたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお祈りします。



吉浜まちづくり協議会

明けましておめでとうございます。

今年は、昨年決めた基本方針をさらに進め、①子どもには未来への夢を… ②お年寄りにはいきがいを… ③家庭には笑顔を… ④地域には絆を…の4点を基本理念として活動していきたいと、メンバー一同張り切っています。

これらに基づいて、昨年11月には第2回よしまふれあいフェスタを開催しました。「もちつき大会」、「移動動物園」、ふるさとをテーマとした「ふれあいコンサート」と盛りだくさんの内容でした。雨にもかかわらず、のべ1,000人ほどが参加し、子どもや家族連れ、お年寄り幅広い世代が集まり、にぎやかでした。

会場には、昭和初期の道具、アーカイブスパネル展、吉浜細工人形の開帳パネルを展示、コンサートも小学生唱歌、童謡、叙情歌と、回想法を取り入れて、認知症対策も試みました。

最後は「紅葉」、「ふるさと」の全員合唱で、吉小体育館に歌声が響き渡り、感動のフィナーレでした。

こうした活動から、吉浜地区の皆さん一人ひとりが、ふるさと吉浜への愛着を持ち、「自分たちのまち」を良くしていこうと思つて、活動していただけたら幸いです。



翼まちづくり協議会

明けましておめでとうございます。

皆さまには、希望に満ちた新年を迎えられたことと思います。

今年も地域の皆さまのご支援とご協力を賜りながら、防犯・防災を柱に、「安全で安心して暮らせるまち」を目指し、この目標が早期に達成できるように、勇往邁進していきたいと思ひます。

翼まち協は、町内会、飛翔の会、いきいきクラブ、小学校など、各種団体の皆さまのお力とお知恵をお借りしながら、地域のためにお役に立つよう、日々頑張っています。そして、まち協の活動を通して、「向こう三軒両隣の絆」をより一層深め、「住みたい」、「住んで良かった」まちにしていきたいと思ひます。

私たちまち協スタッフは、和みと親しみ、笑顔あふれる翼まち協を心がけ、日々活動しています。

今後もご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

